



# 9月9日は救急の日

松前消防署の救急車の出動件数は年間1,000件以上。一刻も早く患者を病院まで運び、必要な応急処置を施す任務を負うのが救急隊です。そして、その中のエキスパート、それが「救急救命士」。15年前にできた国家資格です。  
今回は松前消防署の救急救命士5名を紹介いたします。



## 1 宮内 菊雄 (みやうちきくお)

消防士：昭和61年4月  
救急救命士：平成12年5月  
コメント：心肺停止など重篤な傷病者を救命するには、救急車が現場に到着するまでの間（松前町で平均6分位）、その場に居合わせた皆さんの素早い応急手当が何より必要で大切です。勇気ある応急手当・救急隊・医療機関の3者の救命リレーで助かる命があります。ぜひ救命講習を受講しましょう。

## 2 佐伯 和之 (さいきかずゆき)

消防士：平成8年4月  
救急救命士：平成17年5月  
コメント：「もしもあの時遅れていたら…」1秒に救われる命があります。救急車以外に搬送の手段がない時や、症状からみて緊急性がある場合は、迷わず119番してください。そうでない場合は、119番する前に家用車やタクシーが利用できないか考えてみてください。尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いします。



## 5 佐々木 敦 (ささきあつし)

消防士：平成8年4月  
救急救命士：平成15年12月  
コメント：皆さんが車を運転中に緊急走行している救急車を見つけたときは、交差点を避け、道路の左端によって進路を譲ってください。患者さんにとっては1分・1秒が大切です。ご協力よろしくお願ひします。

## 4 原田 信幸 (はらだのぶゆき)

消防士：平成4年4月  
救急救命士：平成13年12月  
コメント：今、救急救命士が行う救命処置を高度化する取り組みが始まっています。(気管挿管・薬剤投与) これらには、病院での実習が義務づけられています。この実習は、担当医の指導・監督の下、万全の体制で行います。「あなたにとって他人でも、みんな誰かの大切な人」です。1人でも多くの命を救うため、救急救命士の病院実習にご理解とご協力をお願いします。

## 3 古田 純一 (ふるたじゅんいち)

消防士：平成6年4月  
救急救命士：平成17年11月  
コメント：救急車を呼びサイレンの音が近づいてきたら、手を上げて救急車の誘導をしていただくと、救急隊もいち早く場所を確認できます。協力できる時はお願いします。

## ● 女性消防団の 〈第37回〉 「ちょっといい話」 ●

分団  
紹介

第2回

第1分団 (南黒田・北黒田)

「わしらの武器は団結力！」



**女性団員：**今回は松前町消防団の分団紹介第2弾、第1分団を紹介いたします。

早速、第1分団のアピールポイントを教えてください。

**第1分団：**それは何より「全員大酒飲み」に尽きるやろ〜(笑)。

**女性団員：**ちょっと、それ「防災」に関係ないやん！

**第1分団：**いやいや、皆で集まってよう飲むけん、わしらの団結力はピカイチぞ！災害に立ち向かうには何より団結力が一番やろが！

**女性団員：**たしかに(笑)。詰所にお邪魔してても、みんなの団結力をすごい感じるわ……。

せっかくなんで、一番若い団員と最年長団員のコメントをいただきます。一番若い団員さん、コメントを。

**第1分団：**横山真次28歳です。親父の退団を機に交替

して入団しました。松前町を守るという使命に燃えています！なお、独身です(笑)。

**女性団員：**横山さんは消防操法大会にも選手で出場して、活躍されていましたイケメンです。これからの活躍を期待しとるけんね！

それでは最年長さん、コメントをお願いします。

**第1分団：**今年で60歳になりました。藤枝喜代徳です。今年の操法大会は残念やったけど、平成4年に県大会に出て、4位に入った年の練習量はものすごかった。まあ、酒の量もものすごかったけどな。

ほやけん、また第1分団もお揃いのTシャツでも作って、また昔みたいに練習しまくって次回の大会は優勝ねらうぞ！

**女性団員：**ありがとうございます。これからも、地域の安心安全を守るためにがんばってくださいね。